

島原市へ友好交流 訪問 11月実施へ

総務教育 常任委員会

5月17日 協議会開催

昨春秋、島原市民100人の友好親善訪問団が幸田町を訪問。今年は、幸田町民が島原市へ友好交流訪問をする。

平成28年11月6日から1泊2日。

各種団体と一般参加者の合計100人を募集する。

Q 一般参加者の募集方法は。

A 8月の広報こつた。応募者多数の場合は抽選とする。

Q 島原市までの交通手段は。

A 移動時間が短く、滞在

時間を長くとれる、飛行機を考えている。

こつたふるさと寄附金

インターネットサイトを使い、平成28年5月2日から1万円以上の寄附に対し、返礼品の送付を開始する。

Q 寄附の受付状況は。

A 5月15日現在で、95件224万円。

Q 返礼品の内容は。

A 農・畜産物、マットレス、クッション、利用券など33品目でスタート。

Q 今後の見通しは。

A 予想以上の寄附受付件数で推移。返礼品の予算増額を予定。



島原城（インターネットから）

福祉産業建設 常任委員会

5月16日 協議会開催

町民が健康づくりにつながる取組の実践により、マイレージ（ポイント）を獲得し、獲得者には県内の協力店で特典（サービス）が受けられるという「こつた健康マイレージ事業」に取り組む。

Q 事業は、商工会に協力願いたい身近な店舗でも使えるように。

A 協力を要請する。

Q 健康づくりにチャレンジできる取組体制を。

A 説明加え実践していく。

町内在住20歳以上町民

墓地アンケートの結果

健康マイレージ 事業始まる

2000人抽出し、回収率53.2%の結果報告。

Q 必要者の意向は様々。町の方向性は。

A 墓地公園と考えるが、当面は既存の墓地整備含

め検討。

Q 共同墓地を集落運用から町に移行する考えは。

A 地元管理の共同墓地整備を補助対象とし、町への移行の考えはない。



ハート体操で健康づくり

防災・減災対策 特別委員会

北部中学校に 防災備蓄倉庫設置

5月13日 協議会開催

北部中学校防災備蓄倉庫は、季節を問わず発生が予想される災害に対応するため、避難所環境の改善を図るための資機材を整備する。JR駅周辺の帰宅困難者にも対応が可能である。コテナ式倉庫で、設置事業費596万円。着工予定は、平成28年8月上旬。



南部中学校の防災備蓄倉庫

定は、平成28年8月上旬。

Q 地域の特性に合わせた資機材か。

A 町内の3中学校は基本的には同じで、防災備蓄倉庫整備事業は最終年度となる。今後は備蓄品の更新を図っていく。

Q 県道沿いの設置は、防犯上問題ないか。

A 学校と協議した結果、場所を決定した。防犯対策はとっていく。

防災リーダー養成研修

防災に関する実践的知識と技術を有し、災害時と平時における地域の防災活動の中心となる人材を養成。防災講話、ロープ結び訓練、MCA無線取扱説明、HUG訓練（避難所運営ゲーム）が訓練内容。

Q 防災リーダーの役割は、避難所運営で力を発揮できるようにする。フォローアップ研修も実施。

A 避難所運営で力を発揮できるようにする。フォローアップ研修も実施。

広島豪雨災害対策を視察

5月25・26日 広島県
広島市、府中町を視察

広島市

広島市の地質は、表面が風化しやすい花崗岩で真砂土が表層に堆積しているため、斜面崩壊や土石流が発生しやすい地形であった。

平成26年8月20日豪雨による土砂災害対策では、砂防堰堤28カ所のうち16カ所を整備。復興まちづくりビジョンでは、山を開発した住宅地の谷筋に被害が集中するため、避難路として横に退避できるように道路整備をすすめる、下水に雨水を



広島市安佐南区八木地区の工事現場

貯留できる計画としている。

広島市総合防災センター

広島市民が、さまざまな体験・研修が受けられ、防災知識が身につけられるための施設。防災に関する資格取得講習もおこなわれ、防災の拠点施設。

府中町防災都市づくり計画

人口5万人、面積10km²で周囲を広島市に囲まれている町で、平成23年に「府中町防災都市づくり計画」を策定。過去の災害から学んで、官民協働の都市防災対策を実現することを目的としており参考となった。

幸田駅前整備 全体図示される

幸田・三ヶ根駅前 整備特別委員会



幸田駅前広場等整備基本計画 全体鳥瞰パース 平成28年3月
将来構想のイメージを示したものであり、機能、規模、配置、デザイン等は確定したものではありません。

5月11日 協議会開催

幸田駅前広場等基本計画

東西に駅前広場を配置、
駐車場、駐輪場を分散配置
して、自由通路により安全
かつ円滑に駅へのアクセス
が可能となるよう策定。

Q 関係機関との協議は、

A 本年度より計画案をた
たき台として、JR東海
愛知県、および地元関係
者と協議をすすめたい。
Q 駅橋上化は、東西を結
ぶ市民の長年の願い。

A 橋上駅と自由通路は一
体のものと考えている。
Q 駅西立体駐車場の活用
が他にあるのか。

A 周辺の活性化が図れる
複合施設も検討したい。

Q 新幹線新駅の構想は、
現時点では考えてない。

幸田駅前土地区画整理事業

事業費ベースの進捗率は
75・9%。建物移転状況は、
全体で79軒の内、75軒が終
了。平成28年度に3軒、29
年度以降1軒を予定。

地方創生 特別委員会

5月9日 協議会開催

幸田町まち・ひと・仕事
総合戦略の交付金活用状況
が示された。

1 基礎交付金

6630万円

将来人口推計により総
合戦略策定業務および豊
根村のチョウザメ養殖に
使うプラズマ装置と水槽
システムの開発費。

2 加速化交付金

8000万円

低温プラズマ活用によ
る抗酸化イチゴ生産装置
の開発および販売用の市
場調査費。

3 新型交付金

政府の予算は、100
0億円であり、低温プラ
ズマ事業継続のため、本

幸田版地方創生 総合戦略



豊根村のチョウザメ養殖場

町も応募する。

Q 新型交付金の新たな事
業展開は、

A 国の交付金は2分の1
である。残りは民間企業
に協力をお願いしていく。

Q 新規企業立地への成果
は、

A 農業法人からの話はあ
る。

政務活動費 のゆくえ

政務活動費とは、議員が通常の議会活動とは別に、それぞれの会派または議員個人が議員としての知識向上や見聞を広めたり、資質向上を図るために交付される調査研究費です。

平成27年度の交付額は1人年額12万円。研究研修費、調査旅費、資料費、広報費、広聴費、陳情活動費などに限定され、収支報告書にはすべての証拠書類などの写しを添えて報告することとなっています。

平成27年度の主な使途は、次のとおりです。

会派	所属議員名	事業費	交付額	主な使途	活動内容等
幸風会	大嶽 弘 笹野 康男 池田 久男 鈴木 雅史 志賀 恒男 杉浦あきら 鈴木 重一 稲吉 照夫 伊與田伸吾 足立 初雄	129万2,125円	120万円	【研究研修費】 岩手県 陸前高田市 気仙郡住田町 西磐井郡平泉町 神奈川県 中郡二宮町 東京都 衆議院会館	・陸前高田市 被災・復興状況 ・住田町 まちづくり ・平泉町 まちづくり ・二宮町 子育て支援 ・衆議院会館 政策勉強会
—	伊藤 宗次	6万8,972円	12万円 (内51,028円返還)	【資料費】 書籍 【広報費】 幸田民報折込 【その他】 事務機借上げ	・書籍 自治体活動と地方議会 自治六法 模範六法 ・事務機借上げ ファックス複合機
—	丸山千代子	14万857円	12万円	【研究研修費】 自治体学校（金沢） 全国市町村国際文化研修所 岡山県 赤磐市 兵庫県 相生市 【資料費】 書籍	・自治体学校 地方自治体の危機と再生、 子どもの育ちを保障など ・全国市町村国際文化研修所 地域包括ケアシステム、チャイルド プアなど ・赤磐市 単独のごみ焼却施設 ・相生市 子育て日本一
—	水野千代子	15万2,004円	12万円	【研究研修費】 全国市町村国際文化研修所 愛知県 豊川市 東京都 足立区 岐阜県 瑞浪市	・全国市町村国際文化研修所 地方公会計の整備促進、財政診断、 健全財政のあり方など 災害と議員の役割 ・豊川市 「赤ちゃんの駅」事業 ・足立区 こども未来創造館 ・瑞浪市 デジタル防災同報システム
—	酒向 弘康	12万9,863円	12万円	【研究研修費】 名古屋通信会館 ほか 【資料費】 書籍、新聞 【広報費】 パソコン周辺機器 ほか	・通信会館 ほか 政策勉強会、講演聴講 ・書籍 よくある町村議会の運営事例 ほか ・パソコン周辺機器 無線ルーター、インク ほか
—	中根 久治	11万151円	12万円 (内9,849円返還)	【研究研修費】 三重県 桑名市 【資料費】 書籍、文具	・桑名市 深溝と市場氏の関係調査 ・書籍、文具 参河誌、蒲郡史談、電子辞書 ほか
—	浅井 武光	10万9,188円	12万円 (内10,812円返還)	幸風会と同じ	幸風会と同じ